

科目名: 社会心理学		科目コード	FD22	
科目主査: 池田 るり子		担当講師: 池田 るり子、小林 孝雄	単位	2
			配当年次	1
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カマ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 望ましい <input checked="" type="checkbox"/> 不要	
<p>心理学の研究分野の中でも、特に人の行動に影響を及ぼす対人関係や環境要因に着目したのが、社会心理学です。本科目では、社会心理学の歴史、目的と研究領域を示す「社会心理学の成立とその独自性」をはじめとして、各論である社会的知覚、対人認知、偏見、帰属、態度、説得的コミュニケーション、自己、対人関係、他人への攻撃と援助、人との関わり方としてコミュニケーションの種類と機能、集団とリーダーシップ、他人への影響力、流言・群集・流行などの集合現象、文化の影響について理解を深めていきます。</p>				
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:		
履修の前提となる知識 その他特記事項	テキストを熟読し、重要なポイントを目次やテキストに付箋などマークをつけ、どこに何が記述されているか整理しておきましょう。			
テキスト	『新・社会心理学の基礎と展開』中里 至正 他, 八千代出版, 2014年			
この科目の到達目標	<p>①社会心理学の基礎知識を正しく理解して説明できるとともに、社会倫理学の理論や諸問題へのアプローチについても適切に理解できる。</p> <p>②社会心理学の理論や概念を身近な現象の中でとらえ、応用することができる。</p>			
成績評価の方法	<p>授業態度を重視し、授業時間中の集中度合い、個人ワークへの取り組み、授業外学習(課題提出)を評価対象とします。また、最終試験は、○×選択問題40問と2択選択問題20問。記述問題を20点とし、1問出題します。授業をきちんと聞くこと、重要な点はノートまたはテキストにメモして置くことをおすすめします。</p>			
事後学習	<p>テキストを丁寧に読み込み、基礎用語の意味や定義を正確に理解したことを客観的に振り返り、知識や理論・様々なアプローチ方法が実際場面でどう応用できるか、自身の過去および現在の活動状況に照らし合わせて再考し、自分の言葉で説明できるようにする。</p>			
事後学習の参考文献	<p>『よくわかる社会心理学』山田 一成(編著), ミネルヴァ書房, 2007年 『グラフィック社会心理学』池上 知子/遠藤 由美, サイエンス社, 2009年 『社会心理学キーワード』山岸 俊男, 有斐閣, 2001年</p>			
スクーリング受講時に用意するもの	<p><input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具</p>			